

石鳥谷小学校
3年(写真右)
菊池 悠生 さん
1年(写真左)
菊池 彩文 さん

毎日スクールバスで通学しています。乗り場のある道路はたくさんの車が走っています。黄色い看板が目立つので、運転する人も注意してくれると思います。



Interview

八日市地区コミュニティ会議では、石鳥谷小学校へスクールバス



安全運転を呼び掛ける看板

安全を見守っています。

児童の安全を守る看板設置

八日市地区コミュニティ会議

で通学している児童の安全を確保するため、バス乗り場近くに安全運転を呼び掛ける看板を整備しました。地域づくり交付金を活用して設置した看板が、子どもたちの安全を見守っています。

矢沢小学校
6年
太田 星河 さん

児童会の副会長をしています。通学路に街路灯がついたので、明るくなりこれからの季節はとても安心です。友達もみんな喜んでいて、僕たちの声を聞いていただいております。



Interview

矢沢地域振興会では、矢沢小学校への通学路に地域づくり交付金



通学路に整備された街路灯

を活用して街路灯を整備しました。日暮れが早まり、下校時には辺りは真っ暗になるこれからの季節。街路灯の光が子どもたちの家路を安全に照らしています。

街路灯で通学路を明るく

矢沢地域振興会

を活用して街路灯を整備しました。日暮れが早まり、下校時には辺りは真っ暗になるこれからの季節。街路灯の光が子どもたちの家路を安全に照らしています。



27の地域が光り輝く 豊かな地域社会の 実現に向けて

コミュニティ会議を中心に進められてきた27地区の特色あるまちづくり。地域づくり交付金を使って特徴あるまちづくりが進んでいます。27の個性あふれる生き生きとした地域が花巻市全体を輝かせ始めました。

コミュニティによる地域づくり

平成19年4月から市内の小学校単位を基本に26の振興センター(現在は27)が開設されました。地域ごとに組織された「コミュニティ会議」が核となり、自分たちの地域課題を考え解決していく取り組みが始まりました。より身近な地域でその実情や特徴にあった地域づくりを進め、課題解決に取り組むことは、暮らしやすいまちをつくるためにも重要です。地域を知り、自らの力で地域づくりを進めることは、地域に誇りを持ち、そこに住み続けたいという意識づくりにもつながっています。

地域づくり交付金事業

平成23年にはコミュニティ地区条例を制定し、コミュニティ会議

による振興センター施設の指定管理も行うようになりました。コミュニティ地区条例では、コミュニティ会議の役割について明文化し、地域づくり交付金について定められました。

地域づくり交付金は、コミュニティ会議が地域課題を解決するためにかかる費用として、総額2億円が用意され、各コミュニティ会議に配分されています。この交付金は、地域課題の解決を図るための事業、地域の活性化を図るための事業、地域の特色を生かした事業、コミュニティ会議の運営に関する事業など、コミュニティ会議において自由に使い道を決定することができます。地域づくり交付金を使って、これまで特色ある事業を行ってきました。

今回は、各地で取り組んできた事例を紹介します。

次世代を担う人材を育成

花南地区コミュニティ会議



ワークショップで花南地区の未来像を描きました

花南地区コミュニティ会議や自治会活動などを担う人材を育成するため、初の取り組みとなる人材育成講座を開催しました。講座は全5回で、9月7日から毎週土曜日の午後6時から8時まで。花南地区に在住または勤務先があるおおよね50歳から65歳までの方を対象に募集し、14人が受講しました。初回の講座では、受講者同士の緊張をほぐすため一品料理づくり挑戦。2回目以降は、花巻市や花

下根子
高橋 武 さん

最初は受け身の受講でしたが、講座を受ける中で来年度に向けてのいいアイデアがあれば事業化するというチャンスもあり、受講者みんなで頭をひねり、考える場となりました。これがまさに「参画」と改めて実感でき、私にとって大変素晴らしい講座でした。



花南地区
コミュニティ会議
会長
伊藤 實 さん

人材育成講座を受講された皆さんは、いずれも素晴らしい方々で、大変心強く感じています。人材育成は、これからのまちづくりに不可欠です。今回は男性だけの受講となりましたが、今回は女性の皆さんにも受講していただければ、工夫していきたいと考えています。



Interview

南地区のまちづくり、宮沢賢治と花南地区の関わりについて理解を深めたほか、「花南地区の望ましい姿を描こう」をテーマにワークショップを実施。平成26年度の地域づくり交付金事業として、今回の受講者の皆さんが実際にスタッフとなって取り組む具体的な事業計画を策定しました。